

高活協通信(2022年5月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■お知らせ

- 高活協主催のセミナー「ジョブ型雇用について」をオンライン開催しました。
- 今月の「70歳就業法」関連情報欄に、「再雇用はシニア人材派遣会社で」を掲載しました。
- 高活協通信「今月の一冊」は、「老いの福袋 あっぱれ！ ころばぬ先の知恵 88」です。
- 高活協正会員の(株)高齢社代表取締役社長と懇談・情報交換させていただきました。
- 高活協ホームページを更新しました。
 - ・「高活協ホームページ」の URL は以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月 1 回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

■2022年4月の主な活動

- 高活協は現在、セミナーやシンポジウムなど人が集まるイベント活動を自粛しております。ただし、少人数の会議や ZOOM 等を利用したオンラインの会議・イベント等は新型コロナの感染状況を睨みながら適宜実施しております。
- 2022年4月15日、2014年から高活協主催で毎年複数回実施してきた「シニア就業拡大のための勉強会」シリーズを2年ぶりにオンラインで開催しました。今回は、特定社会保険労務士の楯兼次氏を講師にお招きし、セミナーのテーマとして「ジョブ型雇用について」を取り上げ開催しました。
- 2022年4月26日、高活協正会員である(株)高齢社の村関不三夫代表取締役社長と懇談、70歳就業法など高齢者就業に関わる法制度の動向やシニア人材派遣の状況などについて情報交換させていただきました。
- 「70歳就業法」関連情報欄では、60歳以上の社員を傘下の派遣会社で再雇用する KNT-CT ホールディングスの例を取り上げ、「再雇用はシニア人材派遣会社で」と題する内容を掲載しました。
- 高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ページにおいて、「高活協通信(2022年4月号)」の掲載と「シニア就業拡大のための勉強会」開催記録の更新(2022年4月15日開催分を追加)を行いました。
- 2022年4月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお「70歳就業法」関連情報は、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてー トピックス◆◆◆」のコーナー

に、適宜掲載していきます。

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

■高活協主催セミナー「ジョブ型雇用について」をオンライン開催

日時：2022年4月15日(金曜日)13時～14時30分

(セミナー参加者:岡本、金子、高野、森、宮崎、吉成、小泉)

テーマ:「ジョブ型雇用について」 講師: 特定社会保険労務士 楯 兼次 氏

シニア就業拡大のための勉強会シリーズとして高活協主催セミナー「ジョブ型雇用について」を開催しました。新型コロナウイルス発生のため、毎年複数回開催してきた本勉強会シリーズは、2020年2月以降休止しておりましたが、2年ぶりの開催となりました。今回は、特定社会保険労務士の楯兼次氏を講師にお招きし、「ジョブ型雇用について」をテーマに、マイクロソフトの「Teams」を使ったオンラインでのセミナーを実施しました。

最近「ジョブ型雇用」という言葉をよく聞きます。この「ジョブ型雇用について」先ず楯氏から、これまでわが国では当たり前だったメンバーシップ型雇用との対比をしつつ、「ジョブ型雇用」が言われるようになってきた背景、「ジョブ型雇用」の人事労務管理の内容、日本における「ジョブ型雇用」の展開の方向などについてお話いただきました。その後、参加者による活発な質疑応答、討議が行われました。

「講師のご案内」 社会保険労務士法人 楯経営労務事務所 代表

特定社会保険労務士 楯 兼次(タテ カネツグ)

経歴; 大手化学メーカー人事部門に48年間勤務し、人事・労務の制度設計・運用、採用・研修、賃金・社会保険の実務等に従事していました。うち5年間は中国で勤務し、日本の人事・労務管理のみならず、中国の人事・労務の法律、実務にも精通されています。【資格】 特定社会保険労務士・シニア産業カウンセラー・キャリアコンサルタント・年金アドバイザー・ファイナンシャルプランニング技能士・人生設計アドバイザー・ハラスメント防止コンサルタント・健康経営アドバイザー

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.genomics.org/>

◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて ― トピックス◆◆◆

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。

そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

■70 歳就業法 ― 職業寿命の延伸と生産性の向上を両立させられるかが鍵

○昨年 4 月から「70 歳就業法」が施行され、企業等に 70 歳までの就業確保措置の努力義務が課されることになりました。企業等にとっては、「70 歳就業法」の施行を、単に国による職業寿命の延伸政策ととらえるのではなく、全社的な人事・雇用制度を見直し、社員の意欲と生産性を高めるための機会と位置づける必要があります。

○今後このトピックスのコーナーでは、「70 歳就業法」の施行に関連した情報を適宜掲載していきます。企業等の人材活用戦略などの参考にしていただければ幸いです。

今月は、観光・旅行業大手 KNT-CT ホールディングスが、「60 歳以上で再雇用を希望する社員を傘下の派遣会社で再雇用する」との新聞記事に関連した話題を取り上げてみました。

再雇用はシニア人材派遣会社で ― KNT-CT ホールディングスの例を考える

2022 年 4 月 24 日の日本経済新聞に、「シニア社員 社外派遣」と題する記事が掲載されていました。近ツー親会社の KNT-CT ホールディングスが、60 歳以上で再雇用を希望する社員をグループ内の人材派遣会社で再雇用し、ホテルや観光施設などに派遣、シニア人材のノウハウを生かした派遣ビジネスに商機を見出すとのこと。また 65 歳から 70 歳までは派遣先が見つかれば就業機会を確保できる仕組みにするとも書かれていました。こちらは 70 歳就業法に対応した措置とも考えられます。

実は似て非なる先行事例があります。東京ガス株式会社の OB で高活協の代表理事を務める上田研二氏が 20 年以上前に設立した株式会社高齢社の事例です。違いは高齢社が独立資本の会社で、東京ガスの子会社ではないことです。また登録者もシニア人材に特化した人材派遣会社です。設立後は継続的に売り上げを伸ばし経営は順調と言えます。ただ派遣先は東京ガスおよびその関係会社が 6 割前後、登録者も東京ガス OB の方が多いとのこと。

これらの先行事例から KNT-CT ホールディングスの例を考えると、成功するかどうかのポイントは、次のようなところではないかと思われ。一つは傘下の人材派遣会社にどれだけ経営の自由度を与えられるか。もう一つは傘下の人材派遣会社が、シニア専門の派遣会社であるか、あるいは独立したシニア専門の部署を持っているかどうかではないでしょうか。また少なくとも経営が安定するまでは、グループ内への派遣によって人材派遣会社を支える必要があると思います。

一方、再雇用を希望するシニア社員の側にも意識改革が必要です。日本ではヒト(正規社員)にジョブ(仕事)を割当てる形のメンバーシップ型と呼ばれる人事・雇用制度が主流です。しかし定年・再雇

用後の社員は、少なくとも形式的には非正規となります。つまりジョブが先あって、それにヒトが対応していくジョブ型が基本となります。そのため誰かが何かの仕事を割当ててくれるのを待っている意識ではうまくいきません。メンバーシップ型から脱却し、自分の持っている知識・経験やノウハウは何かを自ら確認し、それらが生かせるジョブを求めていく意識が必要になってきます。

実は高活協では企業に対して、再雇用後の継続雇用期間はジョブ型の人事・雇用制度を導入することを提案しています。再雇用をジョブ型雇用にすることによって、職業寿命を伸ばすための意識改革につながると考えられるからです。

◆◆◆読み物コーナー◆◆◆

■今月の1冊

人生100年時代を迎え、シニア層の増加を意識した書籍が増えているようです。このコーナーでは、高齢者の就労に関わるテーマや高齢者の社会参加、ライフスタイル、健康問題などを取り上げている書籍を紹介します。

書名: 新聞記者、本屋になる

著者: 落合 博

出版社: 光文社(光文社新書)

(URL <https://www.kobunsha.com/shelf/book/isbn/9784334045616>)

定価: 1,034円(税込)

今回は、定年を目前にして大手新聞社を退職し、書店員経験ゼロから個人経営の書店を開業したかたの著書を紹介します。

著者の落合さんは、大学卒業後に大手新聞社に入社。おもにスポーツの取材で実績を残し、最終的に論説委員(スポーツ・体育担当)を務めました。落合さんが上司に退職の意向を伝えたのは2017年1月のことで、3月末に無事に退職(58歳の時)、同年4月23日に書店を開業しました。大手新聞社ですから、当然、再雇用制度も完備しており、希望すれば65歳まで働くことができたはずですが。読者減に直面している新聞社には、居心地の良い職場はなかったのかもしれませんが、収入面でも安定しているでしょうし、新たに起業するリスクを考えると、なかなか出来ない判断のように思われます。実は、退職後の仕事に書店を選んだ理由は、それほど明確には語られていません。開店から5年経過したという実績から推測するしかないのかもしれませんが。

いずれにしても、改正高年齢者雇用安定法が施行されて1年が経過し、70歳まで働くことが定着に向かっていることを踏まえると、本書で語られているような起業も、定年後の選択肢のひとつとして検討に値することがわかるのではないのでしょうか。

著者が「店主兼従業員」を務める書店「Readin' Writin' BOOKSTORE」は東京メトロ銀座線田原町駅の最寄りにあります(東京都台東区寿2-4-7)。年間100回以上、店内でイベントを開催しているそうなので、興味を引くイベントへの参加を兼ねて、こだわりが詰まった書店をご覧になってみてはいかがでしょうか。

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』2022年5月号(2022年5月1日発行)のご紹介

発行:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

<http://www.jeed.go.jp/elderly/data/elder/index.html>

<特集>生涯現役時代の安心・安全な職場とは?

70歳までの就業機会確保が企業の努力義務となり、65歳、70歳を超えて働くことがあたり前の時代を迎えています。まさに「生涯現役時代」です。生涯現役で働ける職場を実現するうえで欠かせない要素が、働く人の「安心」と「安全」です。加齢による身体機能の低下、疾病リスクの上昇が指摘されるなかで、高齢従業員が安心・安全に働き続けるためには、労働災害防止のための取組みはもちろんのこと、高齢従業員自身の健康増進を図るための取組みや、病気を患っても治療しながら働き続けることができる環境の整備が欠かせません。そこで今号の特集では、高齢従業員が安心・安全に、生涯現役で働くための環境・制度づくりについて解説します。

総論 70歳まで働くための職場づくり

千葉大学大学院 医学研究院 環境労働衛生学 講師 能川和浩

解説① 高齢者が安全に働ける職場環境改善と作業環境管理

中央労働災害防止協会 安全衛生マネジメントシステム審査センター 所長 斉藤信吾

解説② 生涯現役で働くための従業員の健康づくり

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 非常勤助教 岩崎明夫

解説③ 生涯現役時代の治療と仕事の両立支援

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター 立石清一郎

事例① 株式会社日向屋(宮崎県東臼杵郡)

事例② 大和ライフネクスト株式会社(東京都港区)

事例③ 株式会社松下産業(東京都文京区)

<連載>

○リーダーズトーク(No.84)

ミドルの主體的な“学び”をうながし「終身キャリア自律支援」への転換を

株式会社FeelWork 代表取締役 青山学院大学兼任講師 前川孝雄さんに聞く

○江戸から東京へ 作家 童門冬二(第114回)

続・鎌倉娘の気負い 巴と静

○高齢者の職場探訪 北から、南から(第119回)

滋賀県 株式会社湯元館

○シニアのキャリアを理解する

第5回 シニア期に向けてのキャリアをどうとらえるか

○知っておきたい労働法 Q&A(第 48 回)

定年後再雇用者の労働条件変更と自由な意思、メンタルヘルス不調者と配置転換

○ 病気とともに働く(第 2 回)

生活協同組合コープみらい

○いまさら聞けない人事用語辞典(第 24 回)

「福利厚生」

株式会社グローセンパートナー 執行役員・ディレクター 吉岡利之

○お知らせ

生産性向上支援訓練のご案内

○日本史に見る長寿食(vol.343)食文化史研究家 永山久夫

味噌汁は「幸せのスープ」

○技を支える(第 319 回)

顔師 宮田 肇さん

○イキイキ働くための脳力アップトレーニング！(第 59 回)



配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。
本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。
また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第 6 葉山ビル 4 階

TEL: 03-6555-3926 HP: <http://www.agenomics.org>
